

教育問題



本澤 節子 議員

指定廃棄物の保管状況と処理について



中川 雅之 議員

一般質問

質問 指定廃棄物の保管状況について伺います。

答弁 大田原市内の指定廃棄物の保管状況については、広域クリーンセンター大田原の場内倉庫に、飛灰を含む焼却灰がフレコンバックで211袋、約190トンを山砂入りのフレコンバックで扉を閉め、容易に近づく事が出来ないようにして保管され

質問 私の経験では、不登校児が定時制高校等からも入学を断ります。

答弁 高校進学を希望する生徒のほぼ全員が高校に進学しています。

ており、宇田川地内の北那須浄化センターには、栃木県が保管し管理する、下水汚泥の焼却灰等が、テント倉庫にフレコンバックで約681トン保管され、倉庫周りをネットで囲い立ち入りが出来ないようになっています。

農林業系では、市内8か所で主に稻わらが合計約70トン保管されておりますが、それぞれ国の費用負担で設置された遮水

シートで覆い、飛散などしないよう保管されています。

質問 東電の事故から6年が経過し、保管の長期化が見込まれる中で、特に農林業系の廃棄物の早急な対応が必要と思うが。

答弁 当初より国の責任において処理すべきものであると考えていますが、今後示される国

られて、通信制高校に親が60万円から80万円支払って進学した。お金がなければ教育を受けられないのが現実だ。

不登校というのは、どこの学校でも、どこででも起こり得ると、これはもう文部科学省の定義であります。十分理解しております。

高等学校に進学を希望します。不登校児の人としての可能性を社会が摘みとることがないよう中学教育での進学保証・高校進学保証への支援を行つてほしい。

質問 文部科学省の不登校児童生徒への支援の在り方についてのほう全員が高校に進学しています。

答弁 獲得制度があります。

高校進学を希望する生徒（28年文科初第770号平成28年9月14日）は読されましたか。

質問 ご指摘の点はすべて頭に入つており、網羅されています。